

裏磐梯だより



磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター

No.62
2013年9月

季節の一枚 ㊂

「小野川湖畔探勝路」

小野川湖畔探勝路は、湖畔に沿って伸びていて、スギ林、雑木林、広葉樹林と変化に富んだコースです。途中には、木の橋がかかった小さな沢がいくつもあり、石垣などの人工物も見られ、昔、材木を運ぶトロッコの道だった当時の面影を残しています。

また、ブナ、ミズナラ、トチノキ、オニグルミ、ヤマブドウ、サルナシなど動物たちの食料となる植物も豊富で動物たちの痕跡を見ることができます。時折、木々の間から見える小野川湖は、森の窓から湖を眺めているようです。動物たちもこの窓から景色をたのしんでいるのでしょうか？

これからの紅葉シーズン、赤や黄色に色づいた森の窓を眺めに来てみませんか？

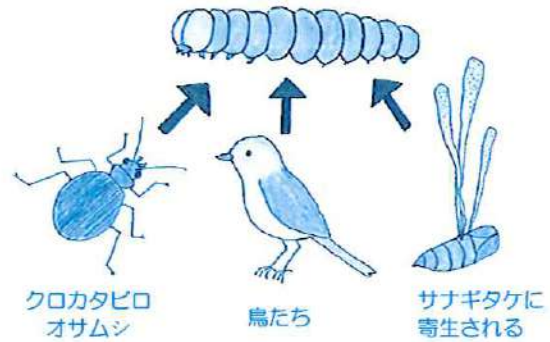
(撮影日 2013年9月9日)

20 年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ

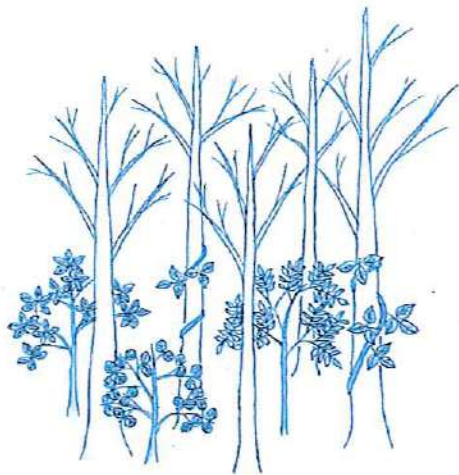
■ ブナ林の異変?! ■

今年 2013 年 8 月、裏磐梯の一部のブナ林では早くもブナたちの葉っぱが消えてしまいました。実はこれ、ブナやイヌブナの葉を食べるブナアオシャチホコというガの幼虫たちの仕業。彼らは、8~11 年ほどの周期で大発生するのです。

今年は八方台付近で大発生し、磐梯山、猫摩ヶ岳、古城ヶ峰など、標高 1100m 付近より上のブナはすっかり葉が消え枝だけとなり冬の姿のようです。それでもブナたちは死んでしまったわけではありません。辛抱強いのがブナの”とりえ”の一つ。翌年にはブナアオシャチホコの苦手な葉をつけるため、彼らは、増え続けられないようです。



大量発生したブナアオシャチホコの幼虫も、全てが大人になれるわけではありません。いろんな天敵にやられてしまい、わずかしが成虫になれないとか…自然界ってうまくできています。



そんなわけで今年の八方台付近のブナ林の紅葉は、ブナの木の下で過ごす中くらいや小さな木が主役になりそうです。鮮やかな紅葉になる条件の一つに、日当たりがよいことがあります。いつもは背の高いブナに光を弱められている小さな木々たち。今年の夏は、太陽の光を体いっぱい浴びたことで、いつもと違った色味になるのでしょうか…?

およそ 10 年に一度のめずらしい景色。必見です。

■ 裏磐梯の色 ■

裏磐梯でみられる色のお話です

今回は、「赤」をテーマにお話しします。

自然の中を歩いていると色々な色に包まれます。土の茶色や空の青。力強い緑の夏の時季が終わると色彩豊かな秋を迎えます。

「赤」は、秋に特に多い色の一つではないでしょうか？夕焼けの朱色の赤、赤とんぼの真っ赤な赤、紅葉の鮮やかな紅、熟した木の実のちょっと黒っぽい赤。緑が少なくなると銅沼の赤茶色の岩も目立つようになります。

私たちの生活の中にも、赤い色は特別な意味を持っています。例えば、赤信号やパトカーの赤色灯のように注意を表すこともあります。テーブルクロスや赤色の食材は食欲をそそるのに効果があります。

自然界の「赤」には目じるしという意味も持ちます。熟した木の実の赤い色は、あまり色を識別できない鳥達に

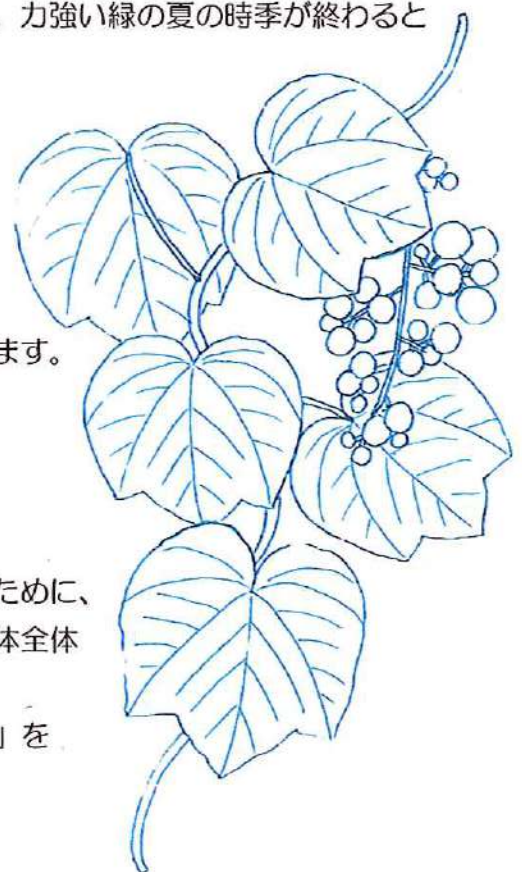
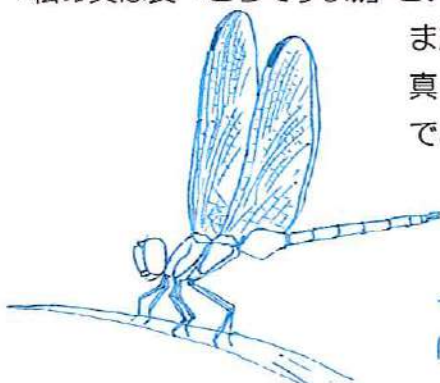
「私の実は食べごろですよ!!」という目じるしの役目を果たします。

また、赤とんぼもパートナーを探すために、真っ赤になり成熟したということを体全体でお知らせします。

皆さんは、この秋どんな「あか」を見つけられるでしょうか？

イラストに色をぬってみてね!

ほんものご自分のイメージはぴったりでしょうか？



日本の国立公園

国立公園で働く方にその国立公園の魅力を訊きます

国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在30の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園に指定されています。

「大山隠岐国立公園」

昭和11年2月1日指定/陸域面積35,053ha/鳥取、島根、岡山
大山自然歴史館の学芸解説員 古城郁さんよりご紹介いただきます



大山自然歴史館外観

当館は大山登山や観光の入り口にあたる博労座にあり、大山隠岐国立公園を一望することができます。館内では、大山の自然や歴史、自然保護の取り組みなどについて、主に標本や写真などの展示物で紹介しています。

大山隠岐国立公園は、鳥取、島根、岡山の三県に点在する大山、蒜山・毛無山、隠岐諸島、島根半島の海岸部及び三瓶山一帯の4つの地域からなります。

その中心である大山(1,729m)は、中国地方最高峰で、山頂の弥山からは最高峰の剣ヶ峰に続く稜線をはじめ、天候によっては遠く隠岐、四国山地まで見えます。また山麓からは見る方角によってまったく違う表情が見られます。

西日本最大級のブナ林を歩くと、季節ごとの美しい姿やそこに棲む野鳥の声などを楽しむことができます。特に5月の新緑、10月下旬から11月上旬にかけての紅葉は毎年多くの人々を魅了しています。



新緑の大山北壁



ダイセントsubaki

そのほか、大山固有種やダイセンと名のつく動植物などの豊かな自然環境だけでなく、阿弥陀堂、大神山神社といった歴史ある建造物を見ることができるのも大山の魅力です。ぜひおでかけください。

◆大山自然歴史館 <http://www.daisen.gr.jp/rekishikan/>

ようこそ！ビジターセンターへ

裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

夏休みイベントを開催しました！

今年の夏休み期間中の来館者数は、約20,000人でした。今年は、定番となっている「わくわく散歩」「スライドトーク」「これな〜に？」に「空飛ぶタネを作ろう！」「磐梯山を作ろう！」の工作プログラムが2種類と新しく「五色沼の水を作ろう！」の実験プログラムが加わり6種類のプログラムを開催しました。

「五色沼の水を作ろう！」では性質の違う2種類の水を混ぜ五色沼の水を作ってみました。水を混ぜてしばらくすると起こる変化に皆さん、驚いていました。



環境省裏磐梯自然保護官事務所主催イベント

「五色沼オオハンゴンソウ駆除作戦！」

今年のイベントは、例年とは少し趣向を変え、五色沼自然探勝路の散策と外来種であるオオハンゴンソウの駆除体験を行いました。

9月に入ってから涼しい日が続いていた裏磐梯ですが、当日はゆっくり探勝路を歩いても汗ばむ陽気でした。午後のオオハンゴンソウ駆除も暑い中の作業となりましたが、皆さんのがんばりで皆さんのオオハンゴンソウを駆除することができました。



裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会
主催イベント

講演会

「野生動物と共存するには」(仮)

森林の生態系、野生動物の生態、野生動物と人間はどのように共存していけばいいのかわかるといって
「新潟大学農学部箕口秀夫教授」をお招きしてお話していただきます。

日時：平成25年11月23日(土)
午後1:30~3:00

会場：裏磐梯ビジターセンター

定員：40名

参加費：無料

申し込み：事前に電話でお申込みください。

「五色沼の水中の神秘」 写真展開催のお知らせ

条件によって色々な表情を見せてくれる五色沼。その美しい沼の中はどんな世界なのでしょう？生き物は？色は？

特別保護地区のため、普段は水中には潜れない五色沼。“水中写真家 中村征夫さん”による写真を展示します。

期間：10月2日(水)~10月31日(木)

会場：裏磐梯ビジターセンター レクチャールーム

裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会主催イベント

「わくわく散歩」開催中!

毘沙門沼周辺を散策するミニガイドツアー「わくわく散歩」を開催しています。動植物や磐梯山の噴火の痕跡を観察しながら一緒に歩きませんか？

開催日時：11月10日までの土日祝

開催時間：午前10:00~

参加費：600円

定員：8名

※詳しくは電話でお問い合わせください。



「スライドトーク」開催中!

スライドとスタッフのトークで裏磐梯の自然を紹介します。「五色沼の秘密編」「磐梯山のお話編」の他に「裏磐梯の動物たち編」も好評です。スライドトークを見てから散策すると、新たな発見があるかもしれません。

開催日時：11月10日までの土日祝

開催時間：午後1:00ぐらい

参加費：無料



秋の展示

秋といえば紅葉！紅葉の仕組みや、裏磐梯の紅葉の具合を紹介しています。どうして葉っぱの色が変わるの？いつ紅葉してる？

植物たちの生活をのぞいてみませんか？



「裏磐梯だより」について

■ ウェブサイトからもご覧いただけます！

年間6回(奇数月)の発行ごとに更新しますのでどうぞおたのしみに！

■ 総集編 vol.1~3 販売中!!

※各1冊 1,300円(税込) 裏磐梯ビジターセンターにて販売しています。

■ 郵送でお届けする定期購読も!

ご希望の場合は、ご住所とお名前を明記の上、80円切手6枚(1年間6回の送付分)を同封して、裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。



◇◆◇ビジターセンターの窓から◇◆◇

紅葉って、実は強すぎる光から身を守っている必死の方法なんです。植物たち、今年もあとひとふんばり!(くらら)ミツバアケビやヤマブドウやサルナシが美味しそうに熟してきました。秋の実りに動物たちも大忙しかな。(ひろ)いつまで半袖でいようか悩んでいます。そういえば、まだ、タオルケット一枚で寝ています。(わっしー) ツタウルシが赤く色づき始め、日々、肌寒さが増してきますが、まずは、紅葉を楽しみましょう。(なが)

磐梯朝日国立公園

入館無料

裏磐梯ビジターセンター

開館時間 夏季(4月~11月)
午前9:00~午後5:00

冬季(12月~3月)
午前9:00~午後4:00

休館日 毎週火曜日、年末年始
※火曜祝日の場合は開館し翌日休館

〒969-2701

福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯 1093-697

TEL 0241-32-2850

FAX 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>